

文化祭や修学旅行、研修などの行事を終え、季節は一気に秋めいてきました。気づけば、けやきの木も色づき始めていますね。読書の秋です。ぜひ図書室をたくさん利用してください。



1. 平成30年度7～9月の貸出数

学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
7月	61	80	96	103	13	64	419
8月	15	18	116	33	1	4	187
9月	118	83	29	89	6	71	375
今年度累計	781	334	436	448	78	282	2359

7～9月の個人貸出数ランキングは、1位26冊（高3-2）、2位23冊（高1-3）、3位15冊（中2-3）、4位13冊（高3-4）、5位12冊（中1-1、中2-2、中2-3）です。

2. 図書室からのお願い



試験前ですが、図書室、自習室とも席をとることは禁止です。教科書を取り違えたり、忘れ物をしたりしないよう荷物の管理をしっかりとってください。

皆さん勉強の時に「ふせん」を使うことがあると思います。けれども、ふせんには裏に薄くのりが付いており、長い間貼りっぱなしにしておくことは、本にダメージを与えます。ふせんを付けたままの本を棚に戻したり、本を返却したりすることのないようお願いします。

赤本の貸出はできません。館内のコピー機を利用してください。

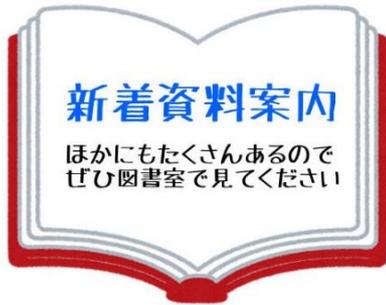
3. ブラウジングコーナーの楽しみ

図書室の左手前には、上履きを脱いで利用するスペースがあります。このブラウジングコーナーは、テーマを「女子の部屋」としており、ここには、パラパラと眺めて楽しむような絵本や、写真をメインとしたヴィジュアルブックなどを並べています。

このコーナーでの貸出が多い本は以下です（検索機で調べると「円形書架」と出てきます）。

- * 『シナモロールの「エチカ」』など、朝日文庫の〈Ichigo Keywords〉シリーズ。
- * 『山賊のむすめローニャ』(アストリッド・リンドグレン著) など、岩波少年文庫の海外児童文学。
- * 『あるかしら書店』(ヨシタケシンスケ著・ポプラ社) など、絵本。
- * 『絵師100人』(ビー・エヌ・エヌ新社) など、漫画技法書。

ソファの上には、ぬいぐるみがあり、のんびり読書ができるスペースです。利用したことがない人は、ぜひのぞいてみてください。



『エッグマン』辻仁成 著 朝日新聞出版 (913./Ts41)

人を幸せにする卵料理！元料理人のサトジが、母娘二人暮らしのマヨとウフのために、人生の問題を解決しながら、卵料理を作るお話。料理の描写が秀逸で、卵を火にかけてときの音や香り、そしてアツアツの黄金の卵料理が、想像できます。ご飯にもお菓子にも、和食にも洋食にもなる卵の奇跡が、ここにあります。



『書きたいことがすらすら書ける！「接続詞」の技術』石黒圭 著

実務教育出版 (816/I73)

テストで、接続詞の穴埋め問題が苦手な人がいませんか？ 文章を構成するのに、とても重要な役割を持っている「接続詞」が、丁寧に、例文付きで解説されています。自分の理解だけでなく、相手の理解を助ける働きもあるので、小論文対策にも役立ちます。

『乙女の文学さんぽ 鎌倉・湘南編』東京書籍書籍編集部 編

東京書籍 (291.37/To46)

最近の話題作から、昔の名作に登場する、鎌倉・湘南の風景を、めぐっていきます。「あの場面」で使われた駅、「あの場面」で食べたカフェなど、実在するところを小説に盛り込まれていると、この本を片手に鎌倉へ行きたくなってしまう。



『世界を変えた50人の女性科学者たち』レイチェル・イグノトフスキー 著

創元社 (402.8/I24)

女性初のノーベル賞受賞者、マリー・キュリーや、女性初の宇宙飛行士、テレシコワなど、見開き1ページずつ、紹介されています。女性の努力は粘り強く、そして柔軟な発想力を持ち合わせているのだと、しみじみ感動します。これからは、STEM分野での活躍が期待される時代。先人に学んでみてください。



『斜陽』太宰治 著 角川文庫 (913.6/D49)

敗戦後の没落貴族を描いた、太宰治の代表作。表紙は、アニメ「文豪ストレイドッグス」とのコラボレーションカバーです。熱烈な声がありましたので、全種類購入しました。

『物語と歩いてきた道』上橋菜穂子 偕成社 (914.6/U36)

〈守り人〉〈獣の奏者〉などのシリーズで、大妻多摩でも人気の上橋菜穂子さん。2014年には国際アンデルセン賞を受賞しました（これは児童文学のノーベル賞と言われることもあるくらいの権威ある賞です）。この本は、これまでいろいろな機会に行われたインタビューやスピーチをまとめたものです。なんといっても圧巻は、上橋さんがすすめる700冊の本のリストです。

『全解説英語革命2020』安河内哲也 文藝春秋 (375.8/Y64)

4技能導入によって、英語の試験はどう変わるのか？ 予備校の人気講師で、文部科学省の有識者会議で委員も務めた安河内先生が、わかりやすく解説します。興味のある人はぜひ参考にしてください。

